

2学期スタート

ー 通常保育時の対応変更についてー

園長 安達 譲

yuzuru@hijiri.ed.jp

最新の知見や情報を元に対応を変更いたします

昨日、例年よりも少し早い2学期がスタートして、どのクラスにも子ども達の元気な笑顔が戻ってきました。7月末より新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が再び増加し、不安な夏休みの始まりとなりましたが、2学期開始前に新規感染者の数も減少傾向となり、市内においても陽性者のほとんどが軽症あるいは無症状ということで、園としては少し安心して2学期を迎えられました。

決して新型コロナウイルス感染症を侮るわけではありませんし、今後も対策は継続して行かなければなりません。亡くなられた方の人数の比較ではインフルエンザの方が多くことは事実です。感染症としての分類も2類相当から5類(インフルエンザ等と同じ)に変更することが検討されるなど、恐れすぎずに正しく恐れることが大切のように思います。この8月においては熱中症の方がはるかにリスクは高く、大阪府教育庁の「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル(増補版)令和2年8月21日」では、「夏期は熱中症への対応を優先」と改訂されました。

今週になってWHOから発出された「地域社会の子どもたちへのマスク使用に関するアドバイス」の中でマスクの利点を認めつつも「マスク着用に伴う潜在的な害(実施可能性(feasibility)や不快感、社会的・コミュニケーション上の懸念など)と比較して検討されるべきだ。」、あるいは「子どもの最善の利益、健康、福祉を優先すべきである。」とあります。1学期に園長通信にてお知らせしましたように、感染のリスクを限りなく0にしようとすることで、子ども達に経験してもらいたいことができなくなったり、友達との関わりが減少したりして、成長のリスクが高まってしまふことを園として危惧しています。

2学期のスタートに当たり、現在の国内外の新たな知見や情報、子どもの現状、教育の内容、感染のリスク等を踏まえて、「本年度の通常保育時(レベル5)における対応」を8月26日付けで改訂いたします。赤字部分に変更や追加されるところですが、昨日つくろうdayのご協力にも書かせていただいたように、例年通り、廃品での制作をスタートしたり、マスクの着用や消毒等について変更しておりますので、一度お読みください。そして、7月の園内研修で講師の先生から指摘のあった保育者の表情が子どもに伝わりにくいことを改善するために、保育者は、これまでのマスクの着用と共に場面に応じてフェイスシールドを着用したり、感染の危険性の低い外での活動では外すことといたします。

ただし、感染の状況や新たな知見が明らかになった場合はその都度変更してまいりますし、個々の園児や各ご家庭の状況により「うちの子はマスクを付けさせたい」等のご希望もあるかと思っておりますので、この改訂に関してのご質問やご意見がありましたらお聴かせください。

尚、新型コロナウイルスに関して、感染の拡大と同時に心配しておりますのは、園内に感染が出た場合の偏見や差別的な取り扱いです。天理大学の例では、全く接触の無い同大学の学生さんが実習やアルバイトを断られたりという大変悲しいことが起こってしまいました。どれだけ気をつけていたとしても、だれの身に起こっても不思議ではありません。私たちの理性によって偏見や差別が起こらぬようにしていきたいと思えます。つまらないバラエティ番組や週刊誌のように「だれ、だれ？」ではなく、だれかは分からないがその人の回復を心から願う社会でありたいものです。そして、そのような差別や偏見が無いことで仮に感染があったとしても、臆することなく早期に適切な処置を受けることが可能となり、結果として感染の拡大を防ぐこととなります。どうか自分事としてお考えいただきますようお願いいたします。

何か不安な点やご質問等については園までお問い合わせください。

本年度の通常保育時(レベル5)における対応 8月26日改訂	
・体調の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の体温、体調チェック ・教職員の体調管理
・三密の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室内での換気冷房時最低30分に一度 ・クラスでの人数基準最大30人まで ・クラス全体での活動30分程度まで(削除) ・可能な範囲で距離(1m程度)を取るが子ども同士の自然な関わりは妨げない。 ・子どもが保育者にかかわりを求める場合には適切に応じる。
・手洗い、消毒	<ul style="list-style-type: none"> ・登園、入室、遊びの前後の消毒、手洗いの徹底 ・みんなが触る場所 ドアノブ、スイッチ、手すり等一日に1回の消毒 ・床、机、椅子については通常の清掃の範囲で対応 ※1 ・降園時、解散場所での消毒について降園地区(特に電車利用)のみ行う。 ・※2空気清浄機等の活用
・子どものマスク着用	<ul style="list-style-type: none"> ・原則着用は不要。夏期は熱中症への対応を優先 ※1※3 ・保育室内等で30分以上にわたり、近くで一緒に遊ぶ、話し合いをする等の密接な関わりをする場合は着用する。 ・屋外、登降園時、運動場面ではマスクを外す。 ・運動系の課外教室で着用はしない。
・おもちゃ、絵本 楽器等の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・手に取る前後に手洗いをする。 ・一日に一度消毒を行う。 ・消毒が難しいものは使用間隔を空ける(絵本等) ・廃品については園に持ち込まれた後、72時間を経過後使用する。(食品が入っていたもの等は洗浄後、72時間を経過後使用)
・給食	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、職員の給食前後の手洗いを徹底 ・みんなで食べることに重点を置き、食事量の調整偏食の

	<p>是正は必要最低限行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> •配膳は職員が実施。 •飛沫感染を防ぐために、対面で向き合う場合は透明の間仕切りを設置
<p>感染者が発生した場合の消毒</p>	<ul style="list-style-type: none"> •園児、教職員の感染が判明した場合は、保健所の指示のもと、必要に応じて学校薬剤師等と連携して消毒を実施。当該感染者が活動した範囲を特定して汚染が想定される物品（高頻度で触った物品）を消毒用エタノールまたは0.05%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液を使用して消毒を行う。（トイレについては、0.1%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液を使用） •症状のない濃厚接触者が触った物品に対する消毒は不要。※1 •物の表面についたウイルスの生存時間は、付着した物の種類によって異なりますが、24時間～72時間くらいと言われており、消毒できない箇所は生存時間を考慮して立ち入り禁止とする。

※1大阪府教育長「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル(増補版)

令和2年8月21日

※2Panasonic製のジアイーノの安全性が確認できたので、全保育室で使用。

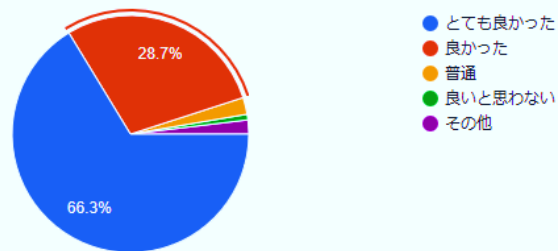
※3 WHO マスク着用について

https://www.unicef.or.jp/jcu-cms/media-contents/2020/08/AdviceOnTheUseOfMasksForChildrenInTheCommunityInTheContextOfCOVID19_AnnexToTheAdviceOnTheUseOfMasksInTheContextOfCOVID19_JP_20200824.pdf

アンケートへのご協力ありがとうございました。

1学期末に実施しましたアンケートの結果は下記の通りとなりました。
前例のない感染症の課題に直面した1学期でしたが、休園期間中から分散登園、全員登園の時期を通じて、正確な情報を可能な限り早くお届けすることや、子どものことを第一に考えての対応や姿勢に対して、評価いただいたことは全教職員にとって大変うれしく、また、本当に心強く思いました。心よりお礼申し上げます。

動画配信について

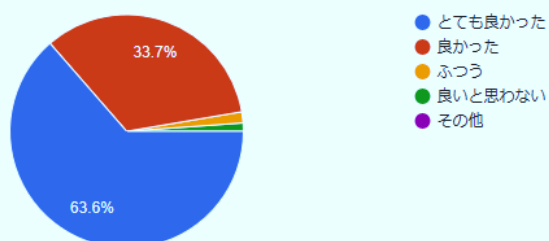


〇コロナで色々な事を制限される中、zoomを通して新しいクラスのお友達や先生の声を聞けたり顔を見れたり、交流する事が出来ても嬉しそうでした。

〇ひじりチャンネルでは、自粛期間中に毎日配信して下さったので子ども朝から今日は？ととっても楽しみにしていました。また好きな動画は何度も繰り返しみていました。手洗いの動画は、も一度見たか分からないくらいみたり、家でも動画を撮るほど手洗いの歌が定着いたしました。また懇談に関しても短い間でしたが担任の先生とお話しできていい機会になりました。

と言う意見を沢山いただき、ありがとうございました。良いと思わないやその他には子どもが興味を示さなかったからと言う意見や電波が悪く聞こえなかったとの意見もあり、改善していきたいと思えます。

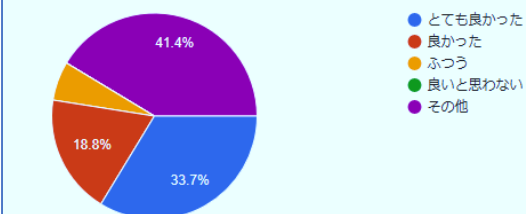
分散登園について



〇慣らし保育のようなイメージで、徐々に新学年・新学期への心の準備が整ったことがとてもよかったと思います。少人数のグループでしたので、先生やお友達と、ゆっくりしっかりと関係性を築いていけたところが、親子ともありがたかったです。最初の園庭開放も、久しぶりに広い園庭でサーキットなどでたくさん遊ぶことができ、喜び楽しんでいました。

〇感染リスクの観点から考えて、少人数での分散登園は妥当だったと思います。ただ、もう少し長い時間過ごせても良かったかなと思います。などのご意見を頂きました。

保育参観やお泊まり保育に変わる取り組みについて

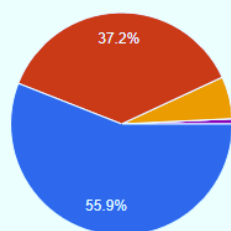


〇行事が少なくなる寂しさはありますが、色々なことを自分たちの力で考えて毎日過ごしているからか以前より幼稚園での出来事を家で話してくれるようになりました。自信や達成感があるのかなあと思っています。

〇毎日皆さんと話し合い、必要な情報を家で集めて、次の日にまた幼稚園で話し合う。保育参観やお泊まり保育はありませんでしたが、自分達で考え抜いて、自分達で進め方を決めていくという力は存分に育てていった一学期だったと感じています。

などのご意見をいただきました。年長児のみの回答でしたので、その他や普通の意見は年中・少の方の回答になります。

七夕 WEEK について



- とても良かった
- 良かった
- 普通
- 良いと思わない
- その他

○保護者が参加できなくても子どもはお友だちと七夕という行事を十分楽しめたと思います。

○必ずしも親が参加しなければ七夕などの伝統行事を体験できないということはないと思っています。今ある環境の中で最高の七夕体験をさせていただいたと思っています。 年中さん年少さんとの関わりの中、年長としての自覚も芽生えたように思いました。という意見を沢山いただきました。

動画などで様子を見たかったという意見もいただき、キッズリーで写真をもっと配信するなど、ご意見を今後活かしていきたいと思っています。

その他

○保育参観、七夕まつりの中止で、私たち親が保育の様子を見る機会はなくなってしまったけれど、それ以上に子どもが安心して幼稚園に通え、お友だちと会って遊べる、楽しい毎日をごせる環境がある事が何よりも大変ありがたいことだと感じさせられました。子どもにとって大切な幼稚園で過ごす環境を作っていただき、先生方には感謝の言葉しかありません。

○不思議と「今年は〇〇が出来てない」とか思うことが少ないのは、状況が刻々と変化する中で柔軟にご対応され、型に囚われない新しい発想で、楽しい事を次々と考えて下さった先生方のお陰だな、と感じます。他所と比べる訳では無いですが、本当にひじりで良かった、とコロナ禍においても痛感しています。もう1年もありませんが、卒園まで楽しく笑顔で過ごせますように。

○消毒や三密回避など感染防止への配慮は、保育の現場では特に大変なことだと思います。 また今年度はなにもかも想定外で、例年通りとはいかず変更点、戸惑うことも多かったのですが、先生方はいつも元気な笑顔で変わらず子ども達を見守ってくださいました。 試行錯誤の上、今年ならではのイベントなど素敵なアイデアをたくさん出してくださり、子ども達の成長を後押ししてくださっていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。